

## 全国道の駅における施設規模について

### 全国道の駅の施設規模について

○全国道の駅の特産品販売所（農林水産物直売所も含む）施設面積について（N=381）

全国の平均面積：412㎡（中央値：242㎡）200～400㎡が31.2%、100～200㎡が25.2%、400～600㎡が13.4%

○上記のうち農林水産物直売所の施設面積について（N=246）

全国の平均面積：190㎡（中央値：122㎡）100～200㎡が29.7%、200～400㎡が22.4%、50㎡が22.0%

出典：「『道の駅』を拠点とした地域活性化調査研究報告書（H24.3）（財）地域活性化センター」より

### 近隣道の駅の施設規模と売上高について

【表】近隣道の駅の施設規模と売上高（道の駅あらお（仮称）基礎調査報告書より）

駅名	道の駅A	道の駅B	道の駅C	道の駅D
敷地面積	約22,000㎡	約11,200㎡	108,575㎡	—
特産品販売所 (物販)面積	<b>210㎡</b> その他：飲食(宴会可)・ 温浴・キャンプ場	<b>250㎡</b> その他：飲食(レストラン)	<b>411㎡</b> その他：飲食(バー・仲間)・ 温浴	<b>535㎡</b> その他：飲食(フードコート)
地元産品の割合	農産物：100% 加工品：10%	農産物：100%	農産物：70% 加工品：30%	農産物：92% 加工品：75%
売上高（物販）	178,634,000円	519,663,224円	241,317,667円	870,346,667円

道の駅Bのような、100%地元産の農産品・加工品にこだわることで、平均より小さい規模でも、大きく売上げる道の駅があるように、運営の工夫やその地域の特性、立地環境等が売上げの要因となる部分も大きいと考えられ、**売場面積と売上高は必ずしも比例していない**ことがわかります。